

2022年1月6日

報道関係各位

株式会社カネカ

IR・広報部

カネカ 潜熱蓄熱材による -60°C 以下の定温輸送を実現
—ドライアイスの代替製品として提案—

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：田中 稔）は、融点 -70°C の潜熱蓄熱材「カネカ潜熱蓄熱材 PATTHERMO[®] CV-70」（以下、PATTHERMO[®] CV-70）と、高い断熱性能を持つ「定温輸送パッケージ TACPack[®] Premium」（以下、TACPack[®] Premium）を組み合わせることで、ドライアイス代替製品による -60°C 以下の定温輸送を可能にしました。

-60°C 以下の輸送ではドライアイスを用いることが主流ですが、物流業界においては、カーボンニュートラルの観点から代替製品のニーズが高まっています。特にドライアイスは夏場を中心に需給が逼迫することや、取り扱い作業者の安全管理および航空法による積載量制限があることが課題となっています。

今般、新たに開発した PATTHERMO[®] CV-70 は、無機化合物の組み合わせを工夫することで -70°C の融点を実現した潜熱蓄熱材です。今後、ドライアイスの代替製品として提案を強化し、CO2排出量の低減に貢献いたします。また、繰り返し使用可能であることから輸送コストの削減にもつながります。

定温輸送パッケージは、厳格な温度管理が求められる新型コロナワクチンの接種施設への輸送に使用されており、円滑なワクチン接種に貢献しています。また、冷凍温度帯での輸送が必要となる再生医療やバイオ医薬品の拡大により、医薬品物流における適切な温度管理の重要性はますます高まっています。当社は、今後も温度管理ソリューションの提供を通じ、医療や生活の質の向上、カーボンニュートラル社会の構築に貢献してまいります。

以上



定温輸送パッケージ TACPack[®] Premium
(PATTHERMO[®] CV-70 を使用)

PATTHERMO[®]、TACPack[®]は株式会社カネカおよび玉井化成株式会社の登録商標です。